

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
オブジェクト指向プログラミング		17		43	60
科目概要	オブジェクト指向の基本的な考え方とJavaによる実装について、講義と実習問題を通して、システムを構築する知識を学習する。 なお、本科目は、IT企業のシステム開発でプログラミングに携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。				
学習到達目標	Javaの基本文法やライブラリを利用して、オブジェクト指向プログラミングができる技術を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	オブジェクト指向とは	23	継承関係とコンストラクタの動き	
	2	クラスとインスタンス	24	ポリモーフィズム	
	3	プログラミング実習	25	プログラミング実習(ポリモーフィズム)	
	4	(クラスとインスタンス)	26		
	5	参照	27	修飾子とアクセス制御	
	6	プログラミング実習(参照)	28	プログラミング実習 (修飾子とアクセス制御)	
	7		29		
	8	コンストラクタ	30	抽象クラス	
	9	プログラミング実習(コンストラクタ)	31	プログラミング実習(抽象クラス)	
	10		32		
	11	インスタンスメソッド	33	インタフェース	
	12	プログラミング実習 (インスタンスメソッド)	34	プログラミング実習(インタフェース)	
	13		35		
	14	クラス変数とクラスメソッド	36	パッケージとは	
	15	プログラミング実習 (クラス変数とクラスメソッド)	37	パッケージの作成	
	16		38		
	17	継承	39	例外処理	
	18	プログラミング実習(継承)	40	プログラミング実習(例外処理)	
	19		41		
	20	フィールドとメソッドの継承	42	プログラミング総合演習	
	21	プログラミング実習 (フィールドとメソッドの継承)	59		
	22		60	総合試験	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	オブジェクト指向プログラミングの教科書	SCC		
実習環境	・JavaSE7以降				
	・データベース(MySQL または PostgreSQL)				
	・Java開発ツール(Eclipseを推奨)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験(60%) ・実習課題(40%)		<評価基準> 100~90点:秀 89~80点:優 79~70点:良 69~60点:可 59点以下:不可		

科目名		時間数(90分)				
J A V A総合実習 1		講義	演習	実習	合計	
				30	30	
科目概要	3年間の学習内容を活用して、研究課題の企画、設計、製造からのテスト、プレゼンテーションまでを総合的に実施する。					
学習到達目標	システム開発時の問題とその解決策を考える力を身に着ける。また、チームによるシステム開発を行うことで、コミュニケーション力および調整力の向上を図る。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	チーム決め		16	テスト	
	2	企画の検討		17		
	3			18		
	4			19		
	5	設計書の作成		20	プレゼンテーション資料の作成・ プレゼンテーションの練習	
	6			21		
	7			22		
	8			23		
	9			24		
	10			25		
	11	製造		26	発表・評価	
	12			27		
	13			28		
	14			29		
	15			30		
使用教材	書籍名		出版社			
	主教材	なし				
実習環境	・ JavaSE7 以降					
	・ データベース (MySQL または PostgreSQL)					
	・ Java 開発ツール (Eclips を推奨)					
目標資格	資格名		実施団体			
成績評価方法	演習・実習評価 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

【評価基準（サンプル）】

	評価項目	配点	備考
企画 プレゼン	企画の有意性	10	説得力のある企画を立てているか
	表現力	10	相手に情報を伝えられているか
詳細設計	ドキュメント体裁	10	表紙、見出し、項番、頁番号、誤字脱字
	ドキュメント表現力	5	図、表、画像等の効果的な利用、文章表現の適切さ
	領域網羅性	10	要件の見落とし、無視等がないか
	領域整合性	5	業務局面を俯瞰した際に、矛盾点がないか
	画面設計	5	利用者の立場を配慮した画面が設計されている
実装	正確性	10	設計書通りに作成されているか
テスト	網羅性	10	全ての機能に対して試験が設定されている。
	妥当性	5	項目間の整合性等に対する試験が計画されている。
個人評価	貢献度	5	発案、アドバイス、フォロー、作業支援
	リーダーシップ	5	牽引力、決断力、チーム運営、作業分担
	平常点	10	作業に対する取り組み、探究心
(合計)		100	

科目名		時間数(90分)				
My SQL		講義	演習	実習	合計	
		4	26		30	
科目概要	データベース操作言語（SQL）とデータの正規化について、演習を中心とした授業を通して実践的に学習する科目である。					
学習到達目標	実践的なデータベース操作言語（SQL）とデータの正規化を理解し、企業等でデータベーススペシャリストとして活躍するための基礎力を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	SELECT文の基本		16	EXISTS句	
	2	SELECT文の基本		17	UNION演算子	
	3	集合関数		18	追加・更新・削除	
	4	WHERE句		19	追加・更新・削除	
	5	GROUP BY句		20	テーブル&ビューの作成	
	6	HAVING句		21	テーブル&ビューの作成	
	7	CASE式		22	データベース設計	
	8	ORDER BY句		23	データベース設計	
	9	DISTINCTキーワード		24	データベース設計	
	10	副問い合わせ		25	データ正規化演習	
	11	副問い合わせ		26		
	12	ASキーワード		27		
	13	JOIN句		28		
	14	JOIN句		29		
	15	OUTER JOIN句		30		
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	3ステップでしっかり学ぶ MySQL 入門 [改訂2版]		技術評論社		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
データベーススペシャリスト試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
ORACLE MASTER Bronze SQL 基礎			オラクル			
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>科目試験（80%）</li> <li>演習評価（20%）</li> </ul>			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
アプリケーション開発技術		8	7		15
科目概要	システム開発の手順、各種の設計手法について理解する。 オブジェクト指向設計を中心に基本的な内容を学習する。 実際のプログラミングの前段階となる設計手法について学ぶ。 応用情報技術者午後問題を解くための基礎となる項目を学習する。 IPA 応用情報技術者（レベル3）シラバス「4. 開発技術」の知識の定着に配慮する。				
学習到達目標	システム開発の手順（システム要件定義、システム方式設計、ソフトウェア要件定義）を理解するとともに、DFD、E-R 図を用いた基本的な設計・定義ができる。 UML で記述された簡単なモデル（クラス図、ユースケース図、アクティビティ図、シーケンス図）の意味を理解するとともに、モデルを UML で記述できる。 アジャイル開発についての用語や一連の流れを理解できる。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1	システム開発アプローチ		16	
	2	ソフトウェア開発モデル		17	
	3	オブジェクト指向の考え方1		18	
	4	オブジェクト指向の考え方2		19	
	5	システム化計画と要件定義1		20	
	6	システム化計画と要件定義2		21	
	7	システム化計画と要件定義3		22	
	8	システム化計画と要件定義4		23	
	9	システム化計画と要件定義5		24	
	10	分析モデルの設計手法		25	
	11	分析モデルの設計1		26	
	12	分析モデルの設計2		27	
	13	設計モデルの概要		28	
	14	テストとレビュー		29	
	15	科目試験		30	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	アプリケーション開発技術	株式会社エスシーシー		
実習環境	机上手書き または astah* professional を使用				
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
成績評価方法	提出課題とペーパー試験による総合評価		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)				
特別講座3		講義	演習	実習	合計	
		120			120	
科目概要	情報処理技術者試験やベンダ試験に合格させるべく対策授業を行う。					
学習到達目標	国家試験およびベンダ試験に対する知識を学習し、資格を取得することを目標とする。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	情報処理技術者試験対策				
	～					
	120					
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	基本情報技術者 午前問題集		インフォテックサーブ		
		基本情報技術者 午後問題集		インフォテックサーブ		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目番号：シス-305

科目名		時間数(90分)				
PHP 開発		講義	演習	実習	合計	
		4		26	30	
科目概要	Webサイト構築に特化したPHP言語を使用し、DBと連携した動的なウェブページの作成などを学習する。					
学習到達目標	PHP言語を理解して、簡単なDB接続を伴うWebシステムの構築方法を習得する。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	PHPの言語の特徴		16	PHP技術のスキルアップ	
2	PHPの基本文法		17			
3	実習環境の設定		18	ショッピングカート機能作成		
4			19	カート詳細機能作成		
5	XAMPPによるデータベース作成		20	商品購入数変更機能作成		
6	スタッフ情報入力処理の作成		21	カート削除機能作成		
7	スタッフ情報チェック処理の作成		22	注文フォーム画面作成		
8	スタッフ情報一覧処理の作成		23	注文チェック画面作成		
9	スタッフ情報更新処理の作成		24	注文登録画面作成		
10	スタッフ情報削除・参照処理の作成		25	注文情報データベース作成		
11	商品追加処理の作成		26	Excel注文管理		
12	商品の参照・更新・削除処理の作成		27			
13	商品画像追加処理の作成		28	会員登録画面作成		
14	ログイン画面処理作成		29	会員ログイン詳細機能作成		
15	ユーザ認証・ログアウト画面作成		30	会員特典機能作成		
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	気づけばプロ並みPHP改訂版		リックテレコム		
実習環境	XAMPP+TerPad					
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	最終成果物を評価			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-301

科目名		時間数(90分)			
プロジェクトマネジメント		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	<p>プロジェクトマネジメントとPMBOKの概要について、講義と課題を通して用語知識を習得する。</p> <p>なお、本科目はIT企業でプロジェクトマネジメントの実務経験を持つ講師が、その知識と経験を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>プロジェクトの目的とPMBOKの概要について理解することにより、将来的にプロジェクトマネージャーとして活躍するための基礎知識を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	プロジェクトマネジメントとは	14	まとめ	
	2	PMBOKとは	15	科目試験	
	3	プロジェクトの運営環境			
	4	プロジェクト・ライフサイクル			
	5	プロジェクトマネジメント・プロセス群			
	6	プロジェクト総合マネジメント			
	7	プロジェクト・スコープ・マネジメント			
	8	プロジェクト・スケジュール・マネジメント			
	9	プロジェクト・コスト・マネジメント			
	10	プロジェクト品質マネジメント			
		プロジェクト資源マネジメント			
	11	プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント			
	12	プロジェクト・リスク・マネジメント			
		プロジェクト・調達・マネジメント			
	13	プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	プロジェクトマネジメント	SCC		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験		<p>&lt;評価基準&gt; 100~90点：秀</p> <p>89~80点：優</p> <p>79~70点：良</p> <p>69~60点：可</p> <p>59点以下：不可</p>		



科目名		時間数(90分)			
Webアプリケーション構築		講義	演習	実習	合計
		19		41	60
科目概要	Java サーバサイドプログラミング技術を使った Web サーバの構築を行い、講義と実習を通してサーブレットと JSP の概念や仕組み、データベースとの連携方法を習得する。				
学習到達目標	基本的な SNS (Social Networking Service) サイトやオンラインショッピングサイトを、Java サーバサイドプログラミング技術を応用して構築できる技術を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Web サーバの構成要素	31	総合演習 (総まとめ)	
2	Eclipse によるサーブレット開発手順	32			
3	サーブレットの基本事項	33			
4	文字コードとエンコード	34			
5	リクエストによる入力値の受け取り	35			
6	実習 (練習問題 1)	36			
7	実習 (練習問題 2)	37			
8	はじめての JSP	38			
9	JSP の基本的なタグ (宣言、式)	39			
10	JSP の基本的なタグ (その他)	40			
11	実習 (JSP)	41			
12	クッキー	42			
13	セッション ID	43			
14	フォワード、リダイレクト、スコープ	44			
15	実習 (プログラム間のつながり)	45			
16	JavaBeans	46			
17	MVC モデル	47			
18	事例研究	48			
19	実習 (JavaBeans)	49			
20	MySQL の環境設定と基本的使用法	50			
21	表の操作 (SQL)	51			
22	実習 (DB 操作)	52			
23	ユーザ認証	53			
24	事例研究 (ユーザ認証)	54			
25		55			
26	実習 (まとめ)	56			
27		57			
28	セキュリティ確保の実現	58			
29	フルブルーフ	59			
30	総合演習 (総まとめ)	60			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	Web アプリケーション構築の教科書	SCC		
実習環境	・Eclipse (含 JDK)				
	・Web サーバ (Apache)				
	・JSP/サーブレットコンテナ (Tomcat)				
	・データベース (MySQL 等)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	実習課題		<評価基準> 100~90点：秀		
			89~80点：優		
		79~70点：良			
		69~60点：可			
		59点以下：不可			

科目名		時間数(90分)			
Python		講義	演習	実習	合計
		2		28	30
科目概要	Python を利用した機械学習・ディープラーニング等のプログラミング実践の前段として、言語の基礎知識や基本的プログラミングを習得する。				
学習到達目標	Python の基本的文法やライブラリの使い方を理解して、AI プログラムの基礎力を身につける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Python とは	16	基本構文(セット)	
	2	実習環境の設定	17		
	3	基本構文(値と変数)	18	基本構文(辞書)	
	4	基本構文(標準ライブラリ)	19		
	5		20	基本構文(ユーザ定義関数)	
	6	基本構文(分岐条件)	21	基本構文(関数の高度な利用)	
	7	基本構文(繰り返し)	22	基本構文(クラス定義)	
	8		23	テキストファイル	
	9	基本構文(例外処理)	24	グラフ描画	
	10		25	Numpy の配列	
	11	基本構文(リスト)	26	機械学習入門	
	12		27		
	13		28		
	14	基本構文(タプル)	29		
	15		30	科目試験	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	わかる Python	SBクリエイティブ		
	副教材				
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	なし				
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
高度情報セキュリティ実装技術		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	システム開発・運用におけるセキュリティ対策や実装技術、セキュリティ対策後の効果について学習する。 国家試験 情報処理安全確保支援士(レベル4)の午前II問題の範囲「3-11 セキュリティ5. セキュリティ実装技術」を網羅する。 情報処理安全確保支援士の午前II問題が解けるようにする。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ通信におけるなりすまし、盗聴、不正接続等について理解し、それを防ぐためのセキュアプロトコルと認証技術を習得することで状況に応じた実装技術を高める。</li> <li>ネットワーク、データベース、アプリケーションのセキュリティ対策と仕組みを理解し、セキュリティの実装に役立てる。</li> <li>IoT機器の設計・開発について策定された各種の指針・ガイドラインを理解するとともにIoTに関する規格を理解することで実装に活かす。</li> <li>システム開発・運用におけるセキュリティ対策やセキュアOSの仕組みと実装技術、対策後の効果を修得し、セキュリティの応用技術を高める。</li> </ul>				
講義計画	回	内容		回	内容
	1	無線LANと不正アクセス		16	
	2	ファイアウォールとネットワークアクセスコントロール		17	
	3	NATとファイアウォールの導入運用		18	
	4	DNSと電子メール		19	
	5	Webの仕組みとセキュリティ対策		20	
	6	OSのセキュリティに関する管理(ベース、ファイル、アカウント)とネットワーク保護		21	
	7	OSのセキュリティに関する管理(修正プログラム、パッチ)と監査機能、TrustedOS		22	
	8	認証1(管理と認証、パスワード認証、バイOMETRI認証)		23	
	9	認証2(認証データベース、認証プロトコル、シングルサインオン、アクセス制御手法)		24	
	10	マルウェア解析		25	
	11	電子署名とPKIについて		26	
	12	セキュリティプロトコル		27	
	13	IoTの開発指針		28	
	14	IoTセキュリティガイドライン		29	
	15	IoTセキュリティ設計		30	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	SEA/J 情報セキュリティ技術認定 基礎コーステキスト	セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン(SEA/J)		
	副教材	IoTセキュリティガイドライン ver 1.0	IoT推進コンソーシアム総務省		
	副教材	ウェブサイトにおける脆弱性検査手法	IPA 出版		
	副教材	脆弱性対策コンテンツリファレンス	IPA 出版		
	副教材	IoT開発におけるセキュリティ設計の手引き	IPA 出版		
	副教材	つながる世界の開発指針(第2版)	IPA 出版		
	副教材	高度情報セキュリティ実装技術	自作教材		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
成績評価方法	ペーパー試験		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-105

科目名		時間数(90分)				
HTMLとCSS		講義	演習	実習	合計	
		1		29	30	
科目概要	ホームページ作成やWebアプリケーション開発で必要となる「HTML」「CSS」「JavaScript」について、実習課題を通して基本文法から活用法までを習得する。					
学習到達目標	Webサイトデザインの基礎とサーバーサイドで使用されている JavaScript を取得し、ショッピングサイト等を構築する基礎知識を身に付ける。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	Webサイトの仕組み				
	2	Webページの技術				
	3	HTMLファイルの基本				
	4	コンテンツ・モデル				
	5	テキストの表示				
	6	画像の表示				
	7	音楽や映像を表示する				
	8	図形の表示				
	9	リスト、テーブル				
	10	フォーム				
	11	CSSとは				
	12	様々なプロパティ				
	13	CSS3でWebページをレイアウト				
	14	関数とJavaScriptのオブジェクト				
	15	JavaScriptの応用				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	HTML演習 HTML5版		SCC		
実習環境	・Webブラウザ					
	・TeraPad					
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	課題提出			<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
応用情報技術者試験 対策講座		講義	演習	実習	合計
		10	5		15
科目概要	<p>応用情報技術者試験の午前問題の一部及び情報処理安全確保支援士の午前Ⅱの出題範囲となる「3.技術要素(データベース)」「4.開発技術」「6.サービスマネジメント」について、試験に向けた総復習を行う。</p> <p>使用教材は試験対策テキストを主とするが、前提科目で使用したテキスト及び補助資料を活用し上記出題範囲を網羅した指導を行う。</p>				
学習到達目標	<p>これまで学習して知識・技能を、様々な業務場面に応用できる。</p> <p>情報処理推進機構(IPA)が公開するLv.3シラバスの内容に基づいた以下の応用知識を身につけ、目標資格に合格することができる。</p> <p>① データベース(方式、設計・操作・処理、応用技術)</p> <p>② システム開発技術(要件定義、設計、構築、テスト、導入、受入れ支援、保守・廃棄)</p> <p>③ ソフトウェア開発管理技術(プロセス・手法、開発環境・構成・変更管理)</p> <p>④ サーマネジメント(設計・移行、プロセス、運用、ファシリティマネジメント)</p> <p>⑤ システム監査(監査、内部統制)</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	データベース その1	16		
	2	データベース その2	17		
	3	データベース 模擬問題①	18		
	4	システム開発技術 その1	19		
	5	システム開発技術 その2	20		
	6	システム開発技術 模擬問題②	21		
	7	ソフトウェア開発管理技術 その1	22		
	8	ソフトウェア開発管理技術 その2	23		
	9	ソフトウェア開発管理技術 模擬問題③	24		
	10	サービスマネジメント その1	25		
	11	サービスマネジメント その2	26		
	12	サービスマネジメント 模擬問題④	27		
	13	システム監査 その1	28		
	14	システム監査 その2	29		
	15	システム監査 模擬問題⑤	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	応用情報重要ポイント100	株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	応用情報技術者試験対策 補助資料	(自作教材)		
	〃	ネットワークとシステム開発の基礎	株式会社エスシーシー		
	〃	企業活動とITマネジメント	株式会社エスシーシー		
実習環境	なし				
目標資格	資格名		実施団体		
	応用情報技術者試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
	情報処理安全確保支援士試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
成績評価方法	演習として実施する「模擬問題①～⑤」の解答結果及び授業への取り組み姿勢を総合的に判断		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：大学-309

科目名		時間数(90分)				
医療情報対策2		講義	演習	実習	合計	
		45			45	
科目概要	医療情報技師育成部会の主催する医療情報基礎知識検定、および医療情報技師能力検定に合格させるべく対策授業を行う。					
学習到達目標	医療情報に対する知識を学習し、資格を取得することを目標とする。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1	医療情報基礎知識検定の対策				
	～					
	20					
	21					
	～	医療情報技師能力検定の対策				
	45					
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	医療情報「医療情報システム編」		篠原出版新社		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
成績評価方法	実技試験			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：医療-204

科目名		時間数(90分)			
病院実習		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	医療機関に赴き、医師や看護師、医療スタッフと直接、または間接的なコミュニケーションを取りながら学習することで、医療分野への知識を身に着ける。				
学習到達目標	病院情報システムの仕組みや情報システム課の業務内容を学習する。また、医療情報の実務や動向についての理解も深める。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1	病院概要と医療情報について			
	2				
	3	システム設置			
	4				
	5	ネットワークケーブル等の実技			
	6				
	7	プレゼンテーション技法			
	8				
	9				
	10	診療情報管理・DPCについて 画像診断科見学			
	11				
	12	VBA プログラミング演習			
	13				
	14	医師による特別講義			
	15	意見交換会			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	医療情報「医療情報システム編」	篠原出版新社		
		医療情報サブノート	篠原出版新社		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	医療情報基礎知識検定試験		医療情報学会		
	医療情報技師能力検定試験		医療情報学会		
成績評価方法	資格試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
プロジェクト演習				60	60
科目概要	ゲームプログラムの企画・制作からプレゼンテーションまでチームによる開発プロジェクトの総合演習を行う。				
学習到達目標	ゲームのアイデアを企画書としてまとめ、グループの共同作業で開発し、客先やゲームショー等で発表するまでを体験し、ゲーム業界で活躍するための基礎力を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	チーム決め	41		
	2		…	テスト	
	3	企画案決定会議	54		
	4	※各グループ3案程度	55		
	5		…	発表リハーサル	
	6	企画決定(含プレゼンテーション)	59		
	7	作業担当決定、	60	発表・評価	
	8	作業スケジュールの作成			
	9				
	…	仕様書の作成			
	15				
	16	仕様書レビュー			
	17				
18					
…	作成				
40					
使用教材	書籍名			出版社	
	主教材	配布プリント			
実習環境	・Unity Pro				
目標資格	資格名			実施団体	
成績評価方法	実習評価 別途定める評価シートに基づく			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可	



【評価基準（サンプル）】

	評価項目	配点	備考
要件定義	文書読解力	10	ドキュメントの矛盾点、不明点、改善点を指摘できる。
	業務知識／把握力	10	業務内容を把握できる。
詳細設計	ドキュメント体裁	10	表紙、見出し、項番、頁番号、誤字脱字
	ドキュメント表現力	5	図、表、画像等の効果的な利用、文章表現の適切さ
	領域網羅性	10	要件の見落とし、無視等がないか
	領域整合性	5	業務局面を俯瞰した際に、矛盾点がないか
	画面設計	5	利用者の立場を配慮した画面が設計されている
実装	正確性	10	設計書通りに作成されているか
テスト	網羅性	10	全ての機能に対して試験が設定されている。
	妥当性	5	項目間の整合性等に対する試験が計画されている。
個人評価	貢献度	5	発案、アドバイス、フォロー、作業支援
	リーダーシップ	5	牽引力、決断力、チーム運営、作業分担
	平常点	10	作業に対する取り組み、探究心
(合計)		100	

【日報様式（サンプル）】

業務日報			
実施日	年 月 日 ( )		
グループ名		氏 名	
担当（役割）			
1. 進捗状況			
[本日の予定と実績]			
[明日の予定]			
2. 問題点・懸案事項			
3. 本日の達成度			
達成できた ← 5    4    3    2    1 → 達成できなかった			
4. 本日の所感			

科目番号：大学-307

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
就職対策		15	15		30
科目概要	就職についての講義や演習を通し、就職活動に必要な知識やマナーを習得する。				
学習到達目標	自己分析を通し就職先選択や履歴書作成、面接への対応など、就職活動に必要な知識やマナーを身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	学生から社会人へ	16	履歴書作成	
	2	自己分析	17		
	3		18		
	4		19		
	5	職種研究・業種研究	20		
	6	企業研究・企業選択	21	面接対策	
	7	提出書類	22		
	8	会社訪問の心構え	23		
	9	筆記試験	24		
	10		25		
	11	作文・論文	26		
	12		27		
	13	面接試験	28		
	14		29		
15	内定後	30			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	就職対策	SCC		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	課題提出		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		